

3. ルートの2次選定 (A区間)

● 評価 (想定される移転建物、その構造)



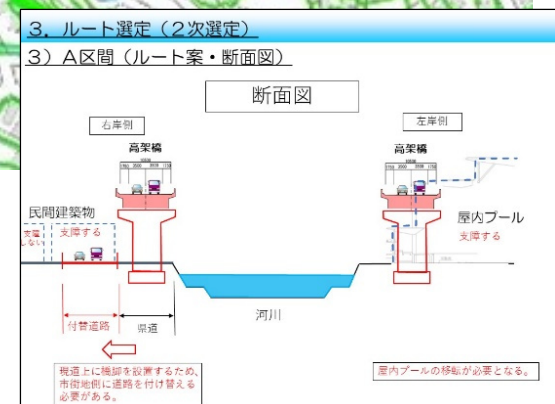
【第1案 評価】

比較的規模の大きい鉄筋コンクリート造を含む建物（約30件）が支障。

【第2案 評価】

屋内プールと、浦上川を渡った先で主に木造の建物（約10件）が支障。

→ **第2案が優れる** と考える



3. ルートの2次選定 (A区間)

● 評価 (環境や景観への影響)

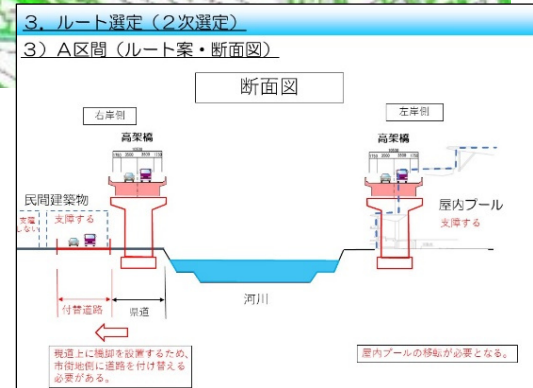


【第1案 評価】

高架橋による整備が主であるため、環境（騒音、排ガス）や景観への影響が考えられる。高架橋の計画高は、景観計画の高さ規制（21m）を満足できる。

【第2案 評価】

高架橋による整備が主であるため、環境（騒音、排ガス）や景観への影響が考えられる。高架橋の計画高は、景観計画の高さ規制（21m）を満足できる。



→第1案、第2案とも同程度と考える

3. ルートの2次選定 (A区間)

● 評価 (地域コミュニティへの影響)



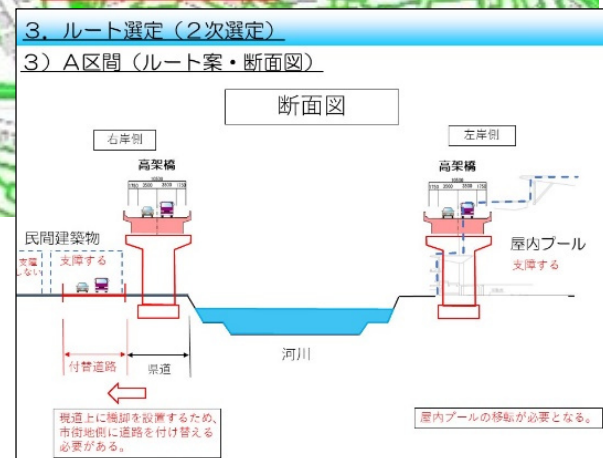
【第1案 評価】

沿道建物の多くが支障移転するため、地域に与える影響が懸念される。

【第2案 評価】

配慮すべきコミュニティはない。

→ 第2案が優れる と考える



3. ルートの2次選定 (A区間)

●評価 (施工ヤードや工事用道路の確保)



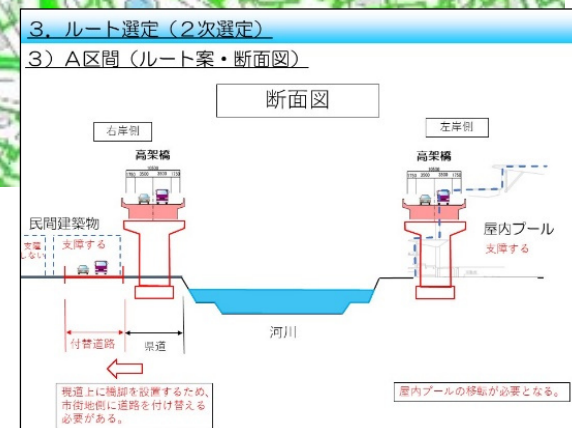
【第1案 評価】

市街地を通過するため、施工ヤードや工事用道路の確保は制約が大きい。

【第2案 評価】

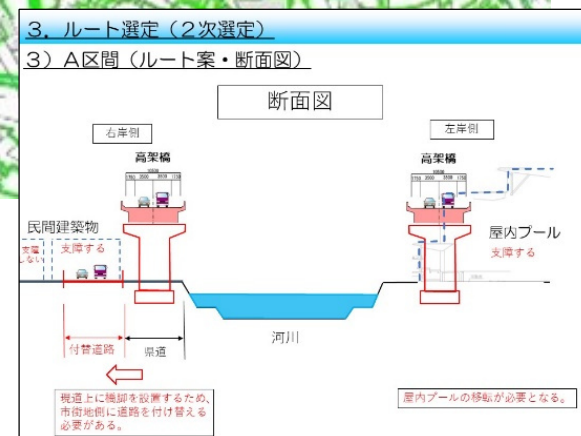
公園内で施工するため、施工ヤードや工事用道路の確保は比較的容易。

→ 第2案が優れる と考える



3. ルートの2次選定 (A区間)

● 評価 (交通規制や道路の切回し)



【第1案 評価】

市街地であるため、頻度の高い交通規制や道路切り回しが生じる。

【第2案 評価】

一般交通がない公園内では、交通規制や道路切り回しは要しない。

→ **第2案が優れる** と考える

3. ルートの2次選定 (A区間)

●評価 (工事による環境影響)



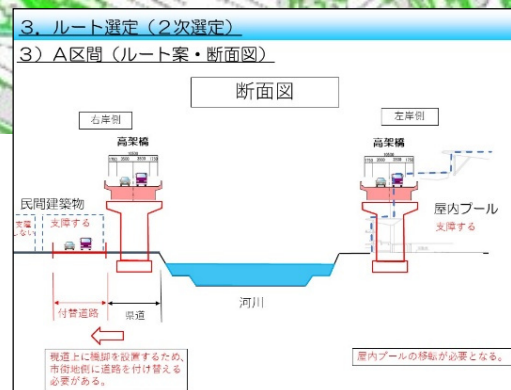
【第1案 評価】

市街地に隣接して多くの工事が施工されるため、粉じんや騒音など環境への影響が懸念される。

【第2案 評価】

周辺市街地からの距離があるため、粉じんや騒音など環境への影響は小さい。

→ **第2案が優れる** と考える



3. ルートの2次選定 (A区間)

評価視点の追加

● 評価 (工事による環境影響・ライフラインへの影響)



【第1案 評価】

県道や市道に直径1350mmの下水道幹線があり、付替道路の地下に付け替える大規模工事が必要。
宅地ごとに上下水道、ガスの移設。電柱と電気・各社通信ケーブルの移設。広範囲の影響が懸念される。

【第2案 評価】

プールの南側（下流側）に直径500mmの下水管が埋設されているが、影響は小さい。

→ それぞれ「施工性（③工事による環境影響）」「経済性」に反映。

3. ルートの2次選定 (A区間)

評価項目の追加

● 評価 (公園機能への影響)



【第1案 評価】

当該公園区域は、憩いの場やスポーツ施設として多くの市民に広く利用されており、道路整備によってその機能の一部に支障が生じる可能性がある。

【第2案 評価】

当該公園区域は、憩いの場やスポーツ施設として多くの市民に広く利用されており、道路整備によって、特に市民プール（屋内、屋外）に支障が生じ、第1案と比較して多くの公園利用者に影響が及ぶ可能性がある。

→ 第1案の方が公園への影響が小さいと考える

3. ルートの2次選定 (A区間)

●A区間の評価 (経済性)



【第1案 評価】

概算事業費

約155億円～約175億円 (前回)

約165億円～約195億円 (精査後)

※ライフライン移設費：約10～20億円の増額

【第2案 評価】

概算事業費

約205億円～約225億円 (前回)

約190億円～約215億円 (精査後)

※プール補償費：約10～15億円の減額

3. ルートの2次選定 (A区間)

● A区間の評価まとめ (ルート比較表)

評価項目・視点の追加を反映しました

		第1案 (右岸側)	第2案 (左岸側)	
概要	ルートコンセプト	規模の大きな公園施設 (屋内プール) を回避するルート (浦上川の 右岸 を通るルート)	既存市街地を回避する (浦上川の 左岸 を通るルート)	
	ルートの特徴	<ul style="list-style-type: none"> 平和公園 (広場のゾーン) の一部競技施設を通過する。 浦上川右岸の沿道では、建物が密に立地し、比較的大きなRC建物も立地している。 用途地域は近隣商業地域、準住居地域で、商業・業務や住居系の土地利用が混在している。 	<ul style="list-style-type: none"> 平和公園 (広場のゾーン) の一部競技施設とともに、大規模な建物 (屋内プール) を通過する。 浦上川左岸は公園施設が立地しており、補償対象となる民間の建物は立地していない。 用途地域は準住居地域で、主に住居系の土地利用がされている。 	
	概略延長	約1.3km	約1.3km	
	主な構造形式 (想定)	高架橋	高架橋	
評価項目 (基本ルート)	既存市街地への影響	① 想定される移転建物、その構造	<ul style="list-style-type: none"> 浦上川右岸の沿道で、階数が高く、比較的大きい規模の鉄筋コンクリート造建物を含む建物が支障する。約30件。(×) 平和公園 (広場のゾーン) の一部競技施設に支障し、補償により移転を要する可能性がある。(△) 	<ul style="list-style-type: none"> 浦上川を渡河した先で主に木造家屋が支障する。約10件。(○) 平和公園 (広場のゾーン) の一部競技施設に支障し、補償により移転を要する可能性がある。また、大規模な建物 (屋内プール) の移転を要する。(×)
		② 環境 (騒音、振動、排ガス等) や景観への影響	<ul style="list-style-type: none"> A区間すべてにおいて、環境及び景観 (眺望) への影響が考えられる。(×) 長崎市景観計画の高さ規制 (H=21m) を満足できる。(○) 	<ul style="list-style-type: none"> A区間すべてにおいて、環境及び景観 (眺望) への影響が考えられる。(×) 長崎市景観計画の高さ規制 (H=21m) を満足できる。(○)
		③ 地域コミュニティへの影響	<ul style="list-style-type: none"> 沿道の支障建物の移転により、『地域住民の利便施設の減少』『商業・業務施設の減少に伴う地域活力の減少』などの、地域に与える影響が懸念される。(×) 	<ul style="list-style-type: none"> 配慮すべき地域コミュニティはない。(○)
	施工性	① 施工ヤードや工事用道路の確保	<ul style="list-style-type: none"> 市街地を通過するため、施工ヤードや工事用道路の確保は制約が大きい。(×) 	<ul style="list-style-type: none"> 公園内を通過するため、施工ヤードや工事用道路の確保は比較的容易である。(○)
		② 交通規制や道路の切り返し	<ul style="list-style-type: none"> 市街地内の限られたスペースでの施工で、歩行者を含む一般交通の影響をうけるため、頻度の高い交通規制や道路の切り返しが生じる。(×) 	<ul style="list-style-type: none"> スペースに余裕があり、歩行者を含む一般交通の影響をうけないため、交通規制や道路の切り返しは要しない。(○)
		③ 工事による環境影響	<ul style="list-style-type: none"> 市街地に隣接して多くの工事が施工されることから、環境影響が懸念される。(×) 【追加】 各種ライフラインの移設が発生し、広範囲の影響が懸念される。(×) (上下水道、ガスなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 高架橋部で周辺市街地からも距離があることから、環境影響は小さい。(○) 【追加】 下水道の移設が発生するが、影響は小さい。(△)
	【追加】公園機能への影響	<ul style="list-style-type: none"> 当該公園区域は、憩いの場やスポーツ施設として多くの市民に広く利用されており、道路整備によってその機能の一部に支障が生じる可能性がある。(△) 	<ul style="list-style-type: none"> 当該公園区域は、憩いの場やスポーツ施設として多くの市民に広く利用されており、道路整備によって、特に市民プール (屋内、屋外) に支障が生じ、第1案と比較して多くの公園利用者に影響が及ぶ可能性がある。(×) 	
	経済性	概算事業費	(変更前) 約155~175億円 (○) (精査後) 約165~195億円 (△)	(変更前) 約205~225億円 (×) (精査後) 約190~215億円 (△)
		内訳 工事費	(変更前) 約110~120億円 (精査後) 約120~140億円 (ライフライン移設 +約10~20億円)	(変更なし) 約110~120億円
		用地補償費	(変更なし) 約45~55億円	用地補償費 (変更前) 約95~105億円 (屋内プール補償費 +約75億円) (精査後) 約80~95億円 (屋内プール補償費 -約10~15億円) (約60~65億円に減額)
総合評価		○ ↓ △	× ↓ △	

(評価) ○: 優れる、△: やや劣る、×: 劣る